



第 22 号 2025 /12/ 5

「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業します。

## インドネシア、大洪水の死者 500 人超す 行方不明も 500 人以上

### インドネシア・スマトラ島で豪雨 死者は 400 人超、日本人 10 人弱も孤立状態に



11月29日、インドネシア北スマトラ州アエクガロガ村の仮設橋を渡る人々。写真：ANTARA

インドネシア政府は 1 日、同国を先週襲ったサイクロン（熱帯低気圧）「セニャール」の豪雨による大洪水で、スマトラ島を中心に国内での死者が 502 人に上ったと発表した。また、508 人が行方不明となっており、約 2500 人が負傷したとした。多くが土砂崩れに巻き込まれたとみられている。この地域で極めて珍しいサイクロンは、インドネシアで壊滅的な土砂崩れと洪水を引き起こした。

多くの家が流され、数千棟の建物が水没した。インドネシアの国家防災庁によると、行方不明者はアチェ、北スマトラ、西スマトラの各州で出ている。

住民らによると、当局はまだ道路の泥や障害物などの撤去に着手していない。外部からの支援も届いていないという。近隣国なども支援に乗り出している。マレーシアは、特に被害が大きかった地域の一つ、アチェ州に医薬品を送っている。

東南アジアなどを先週襲った集中豪雨と暴風雨は、タイ、マレーシア、フィリピン、スリランカにも壊滅的な被害をもたらした。タイでは洪水で少なくとも 170 人が死亡。マレーシアでも数人の死亡が報告されている。（BBC ニュース）

今回の東南アジア一帯の大洪水では、多くの人が命を落とし家や町が一瞬で流されてしまいました。サイクロンによる激しい雨は周りの国々にも大きな被害を広げています。こうした災害が増えている背景には気候変動が深く関わっていると考えられています。地球の気温が上がると雨が短い時間に一気に降ったり強い嵐が起きやすくなったりします。

ではこうした状況を前に私たちは何をすべきでしょうか。地球は一つでつながっています。災害のニュースをただ見るだけでなく自分にできることを考えてみませんか。ゴミを減らす、使わない電気を消す、エコバッグを使う、車に頼りすぎない——そんな小さな行動が地球を守るための大きな一歩になるのではないのでしょうか。

いまの地球の変化を見て、私たちはどんな未来をつくりたいのか・・・今日の行動を変えることで、明日の地球を守れるかもしれません。あなたはどうしますか？私は車の利用を減らす努力を続けています。（望月）